

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～

(Ref No : 19-010)

1 台湾がパラオへ 2019 年の経済刺激策の一環として、100 万 US ドルの無償支援（2020 年の Ocean Conference の準備、SDG、小規模無償支援プロジェクト、独立記念式典等の予算支援）

[原文](#)

(4 June 2019, Island Times)

※以下のIsland Timesは、時間帯によってアクセスできない場合がございます。
その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

2 多国間の合同パトロールにより、南西太平洋の漁業監視が強化（クック諸島、フィジー、ニウエ、サモア、トケラウ、トンガ、ツバルが四か国の防衛調整グループ（ニュージーランド、オーストラリア、フランス、アメリカ）に加わり、各国の警察、漁業、軍関係の職員が 5 月 19 日からのパトロールに参加）

[原文](#)

(5 June 2019, Radio NZ)

3 「ソロモン諸島は、台湾との国交を維持するか、中国との関係を強化するか十分に調査をして決断する。その決定は 100 日以内に実施される。」とソロモン諸島外相が発言

[原文](#)

(5 June 2019, Radio NZ)

4 台湾外務省は、ソロモン諸島の首相や外務大臣を台湾へ招聘する計画を公表（台湾外務省は、ソロモン諸島が台湾との国交を破棄するのではないかとする噂を否定）

[原文](#)

(6 June 2019, Taiwan News)

5 キリバスの副大統領は、同国の旅行政策で認められていないインドネシアへの訪問により、キリバス大統領により罷免

[原文](#)

(6 June 2019, Radio NZ)

6 パラオは、Our Ocean Conference 2020 に関して、治安の維持及び要人の警護の観点から、グアムや北マリアナ諸島連邦から警察職員の応援派遣を要請

することを検討

[原文](#)

(7 June 2019, Island Times)

7 ミクロネシア大統領は在ミクロネシア中国大使に同国の信託基金への支援を要請（ミクロネシア大統領の訪中計画も両者で議論）

[原文](#)

(13 June 2019, Radio NZ)

8 フィジー海軍は、オーストラリアと韓国から 11 月を目途に監視船 2 隻を供与される予定

[原文](#)

(13 June 2019, Radio NZ)

9 インドネシア海上警察は、ナトゥナ諸島周辺で猛威を振るう違法操業を抑えるために、最大級の巡視船を派遣

[原文](#)

(17 June 2019, Jakarta Post)

10 中国企業がサモアを訪問し、サモア政府にカジノ設置を含む投資のための要望リストを渡す（このリストにはサモアの空港、学校、港、病院等の施設からのサービスの無料提供、優先価格の土地提供が含まれ、30,000 人の中国人労働者の派遣を要望）

[原文](#)

(18 June 2019, Radio NZ)

11 ニューージーランドは、太平洋諸島フォーラム漁業大臣会合において、違法操業対策に関するニウエ協定の補足協定を批准（これまでに 13 か国が批准）

[原文](#)

(19 June 2019, Radio NZ)

12 オーストラリア外相が、パプアニューギニアのブーゲンビル島を訪問（ブーゲンビル島は、本年 10 月にパプアニューギニアからの独立を求める住民投票が実施される予定であり、オーストラリアは 800 万 US ドルを先行支援）

[原文](#)

(20 June 2019, Radio NZ)

【パラオ国家海洋保護法修正関連】

13 パラオ国家海洋保護法が一部修正され、成立（修正前の法律では禁止されていた外国の漁業者が漁業を行い、輸出できる海域が新たにパラオ西方海域に設定される）

[原文](#)

(12 June 2019, Pacific Note)

14 パラオは、修正した国家海洋保護法により、国内漁業のための海域を移動させる（同海域において、日本の沖縄の漁業者の漁業が可能となる）

[原文](#)

(14 June 2019, Island Times)

15 パラオは、日本の漁業者による漁業を許可するために、国家海洋保護法を修正

[原文](#)

(17 June 2019, Channel New Asia)